

✿ 令和2年度 くまもと・わくわく基金 ✿

冠基金 公益社団法人 熊本法人会ファンド

事業報告

団体名 : precious place 「かけがえのない場所」

助成事業名 : 地域の子どもたちの健全育成
「かけがえのない場所」づくり推進事業

団体紹介

- 地域の子ども会をサポートします。
- 誰でも気軽に参加でき、子どもから大人まで一緒に楽しめる地域に根差した活動を行います。
- どんなことがあっても笑顔の絶えることのないまちにするために、対話を通して多様性への気づきと調和を促します。



団体紹介

令和2年4月15日(水)

「Webで一緒にご飯を食べよう」

- ・ 子ども食堂とコラボし、休校中の個食や孤食を防ぐ。

令和2年5月5日(火)

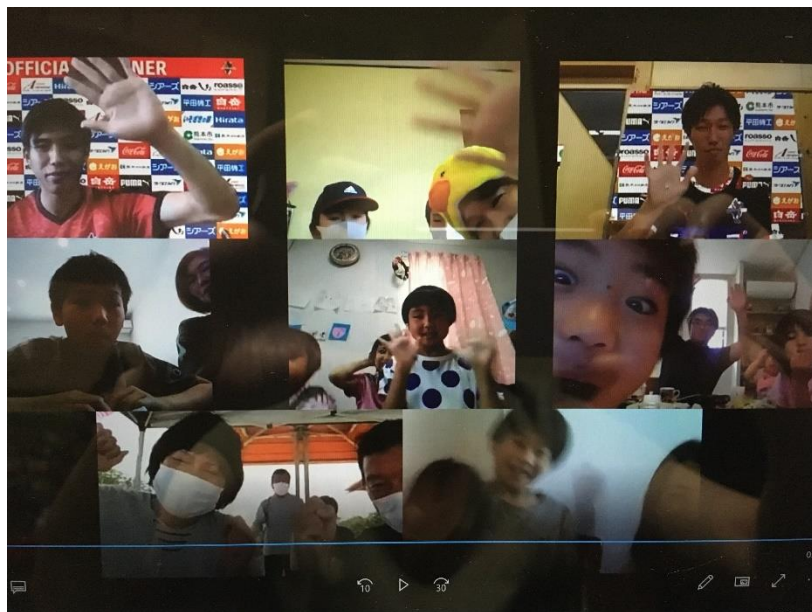
「Webで一緒にご飯を食べよう♪～第2弾こどもの日編」

- ・ 食とWEBを通じてできる場づくりでコロナに負けない！

令和2年6月7日

「一緒にご飯を食べよう♪～密です！密じゃないです！編」

- ・ 一定の距離を保った遊びと自粛生活をぶっちゃける。

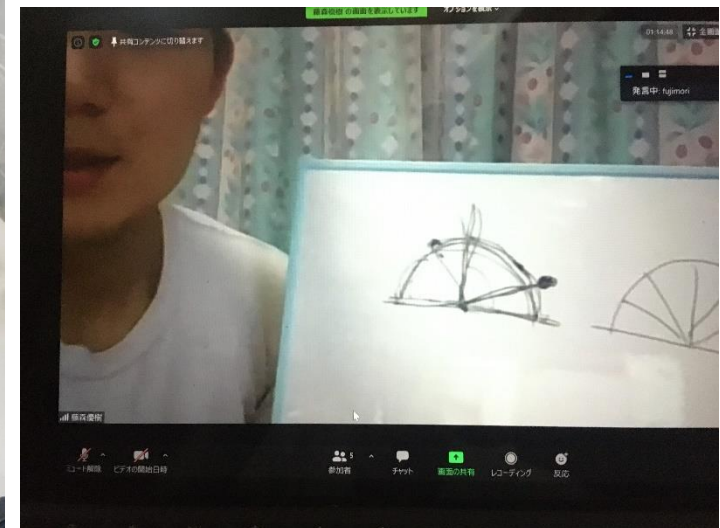
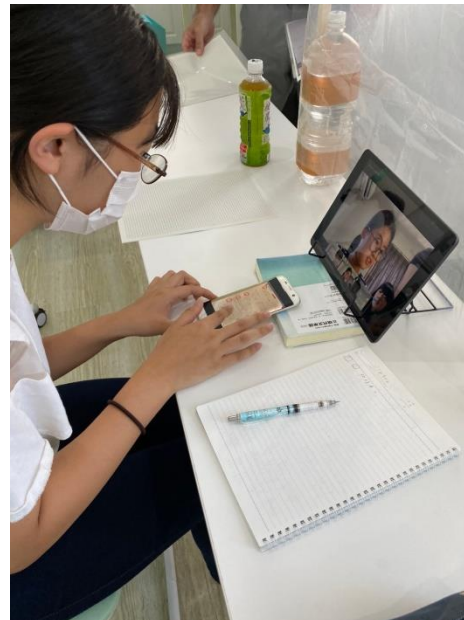


(1)実施内容

令和2年8月8日、8月29日

「夏休みは オンラインde(も)寺子屋」

- 公民館で寺子屋をリモートを追加し、地域の
- 中高生を先生に夏休みの宿題や自由研究を行った。



(1)実施内容



令和3年2月6日

「フェアトレードdeチョコづくり」

- ・ 自粛生活中でもバレンタインデーを楽しめるようにリモートを追加し行った。
- ・ 国際交流会館から指導者を呼び、フェアトレードのお話を聞いた。



令和3年10月25日(日)

「ハロウィン・クリスマス」

- ・ 町内を仮装してねり歩いた。



フェアトレード de おかしづくり
令和3年2月6日(土) 14:00~16:30
おかしづくりの前に小学生でもわかる
フェアトレードのお話をします。

みんなで楽しくチョコづくり

講師 (財) 熊本市国際交流振興事業団 木下俊和氏 (としちゃん)
子ども地域食堂おうち食堂たけちゃんち 竹下紀子氏 (たけちゃん)

場所 (会場 + おうちでZoom)
野口いこいの家または国際交流会館会議室
※1月20日(水)までに決定いたします。

参加費: 材料代500円 (Zoom参加の場合は材料を事前にお届けいたします)
お申し込みの際に、会場(野口いこいの家・国際交流会館)
または、Zoomでのご参加どちらかをお伝えください。
※国際交流会館の場合、駐車場は準備しておりません。

お申し込み 1月17日(日) しめきり
<https://forms.gle/6c4Px924A5RNezs58>

Preciousplace「かけがえのない場所」
TEL: 080-3184-6789 (代表 土井) 090-9405-7685 (藤森)
E-MAIL: preciousplace.kakegae@gmail.com

フェアトレードってなあに?
世界の人がとと一緒に、地球をよくしていこう。

令和2年度(2020年度) 野口市市民公益活動 熊本市市民公益活動
くまもと・わくわく基金 実行委員会 助成事業

野口いこいの家
〒861-4137
熊本市南区野口2丁目
野口公園内



(2)助成金の活用

1. オンライン活動への移行支援金(タブレット費用)
 - イベントの開催を諦めようとしたが、楽しみにする子どものため新たな方法で実施することができた。また、熊本市教育委員会で推進するリモート活用を保護者の身近なものとして周知でき、地域でサポートする方法を生み出すことができた。
2. イベントに掛かる広告、会場費
 - Webとプリントの配布で告知することにより、広範囲に伝えることができた。
3. 講師料
 - 地域の先輩が地域の子どもたちのために貢献でき、やりがいを感じることもできた。
 - 専門知識のある方から話を聞くことで、子どもたちが正しい知識を得ることができた。

(3)成果、市民の声(参加者やサポートを受けた方)

成果:①子ども会や自治会、学校との協力により、ニーズと資源の把握ができた。

(ニーズ)

- 楽しいことがしたい、友達に会いたい。
- 夏休みの宿題を教えて欲しい。
- 近くに知り合いが欲しい。
- 子ども会ができないことをして欲しい。

(資源)

- 地域の役に立ちたいという中高大学生。
- 地域の子どものために何かしたいという保護者や事業所、高齢者。

成果:②子ども食堂とのコラボイベントから、参加した保護者が、子ども食堂のサポートメンバーに入って活動している。

成果:③力合西校区の子ども会組織が無かった地域では、地域の自治会に子ども担当が設立され、老人会と協力して活動することになった。

市民の声

- 子どもの味方になってくれて嬉しい。
- これからも困ったときに頼りにしたい。
- とっても楽しかった。
- (保護者)リモート会議の使用について、できないと思っていたが、地域でサポートしてくれたので、使えるようになった。
- (保護者)Zoomに抵抗があったが、使ってみると面白かった。これからも使いたい。
- (保護者)地域のお兄さんお姉さんがとてもやさしくて、勉強も丁寧に教えてくださり、サークル活動の話もとても楽しかったようです。憧れの存在が近くにいるっていいですね。
- (子ども食堂について)こんな場所があるとは知らなかった。これからも使いたい。

(4)今後の事業展開

- 地域の大人や子ども達の自主性をさらに尊重し実施していく。
- 任意団体を継続し、地域から要望があったときに活動する。
- 各種組織（自治会、子ども会、学校等）との繋がりを継続させ、情報を共有する。